

冬休み前生徒朝礼

令和3年12月23日（木）

それでは、冬休み前に校長先生から皆さんに少し話をします。

まずは、少し前になりますが、12月9日に人権集会が開かれました。ダイバーシティに関する内容の他に、生徒会の皆さんによるいじめに関する劇の発表がありました。その折に話ができるとよかったのですが、時間もありませんでしたので今日ここで伝えます。

本校では、生徒会を中心にしてオレンジリボン活動を行っており、「いじめないよ」週間の設定など、いじめ撲滅に向けて取り組んでくれています。生徒会の皆さんありがとうございます。

このような活動は佐織中ばかりでなく、多くの学校で行っており全国的にも広がっています。しかし、新聞やテレビではいまだにいじめに関するニュースが流れることがあり、悲しいことにいじめを理由として自ら命を絶ってしまう子がいます。もちろん、いじめばかりでなく、他にも原因があったのかもしれませんが、いずれにしろこのような報道を見ると、校長先生も本当に胸がしめつけられるような気持ちになります。

こんなに「いじめはだめ」「やらないようにしよう」とか、生徒会の劇の中で話があったように、犯罪として取り扱われる場合もあるのに、なぜいじめは起こってしまうのでしょうか。

いじめは、受けた人がネット等も含めて、苦痛を感じてしまった状態を指していますが、人によっては、よかれと思ったことが受けた人にはひどく心を傷つけられたということもあるでしょう。他の人なら何とも思わないことかもしれないのに、受け止め方は人それぞれですのでその人にとってはいじめられたと感ずることがあるかもしれません。ですから、人とのコミュニケーションでは相手の様子をよく見ながら話をすることが必要になります。SNS など顔を見ないで文字のやりとりだけのコミュニケーションでは言葉足らずでトラブルになってしまうこともあるのだと思います。皆さんの中にもスマホを持っている人が多いでしょうからぜひ気を付けて使ってほしいと思います。

ただ、絶対にいけないのは、いじめてやろうとする意志をもってしてしまうことです。そんな心になってしまうのはどうしてでしょうか。これについてもいろいろな分析がありますが、校長先生もいろいろな話を見たり聞いたりした中で一つ紹介したい考え方があります。それはいじめをしてしまう人は、心の中が悲しみでいっぱいになっているのだと。だからその状態を少しでも忘れようと、自分よりも弱いと思う人を探していじめてしまう。自分一人でやって仕返しされたり、されそうだと感じたときは、何人かでいじめたりしてしまうというものです。もし

そうであるなら本当に心の弱い人だと思いませんか。かわいそうな人だと思いませんか。本校ではないとは思いますが、もし皆さんの回りでそんな様子が感じられたら、「なあ、強くなろうよ。人を下に置いて安心するな。かっこ悪いよ」と言ってあげてください。いじめはカッコ悪いものだという雰囲気が学校で生まれたらきっとみんなが楽しく安心して生活できるものになっていきます。

冬休みに入り、皆さんも友達と会えない日が続くとネットを活用した会話が多くなるかもしれません。相手を思いやる言葉など、互いに認め合う関係を深めていける使い方を心がけてください。また、特に3年生においては受験に向けてこの休みは大いに勉強に時間を割いていくことになると思います。夜遅くまでライン等で会話を続けると、お互いの大切な時間を奪い合ってしまうとともに、夜更かしは健康面でも支障が出てきます。今から勉強するのでこれで終わりにするね、もう寝るから最後にするねなど、時間を区切って使用してください。

この後、高阪先生からも冬休みの過ごし方について話があります。冬休みは健康に気を付けて生活し、また1月に元気な姿で友達と会えるようにしてください。これで校長先生の話が終わります。